

# 問

代表・一般質問を平成26年9月22日、24日、25日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

## 代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する議員と無党派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下その一部を掲載します。

## 足立区議会自由民主党

### 区民要望に応えられるエリ

### アデザインの早期実現を!

自由民主党 鹿浜 昭 議員



#### 平成25年度決算状況を問う

【問】平成25年度は、アベノミクス等の効果を背景に、若干だが、長く続いた不況の時代から回復基調に転換した年となった。本区の財政運営について区長はどのように評価しているのか。

【区長】4年連続で上昇した経常収支比率が81%と5.5ポイント減少し、23区平均を下回ったことは、25年度決算の一つの象徴と考える。これは、景気変動要因が大きいが、これまでの人件費や公債費を極力圧縮する自助努力のひとつの成果でもある。

また、基金残高を一定基準に保ちつつも、区債を計画的に償還してきた結果として、就任当初約1千億円あった残高を580億円余までに圧縮できた点も一つのポイントである。

#### 慎重・適切な外部委託の対応を

【問】戸籍業務の外部化で発生した問題を決して繰り返してはならない。根本的な原因をどのように分析しているのか。

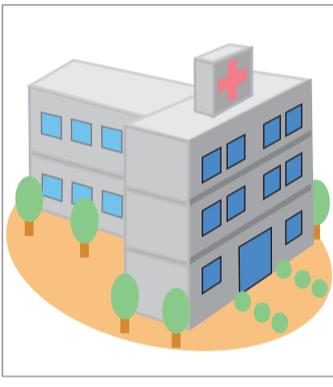
【区民】業務の可視化と分析が不十分だったため、受託事業者へのノウハウを移転しきれず、業務手順や判断基準のマニュアルに不備が生じたことにある。

もう一点は委託業務範囲の設定が適切でなかったため、本来公務員が行うべき「公権力の行使」に係る業務や、区職員に確

認しなければ遂行できない業務が含まれてしまったことにある。エリアデザインで夢のある街づくりを

【問】花畑エリア及び江北エリアの広大な用地を一体的に活用・整備する施設が重要で、大学等の教育施設、大学病院等の総合病院、総合スポーツ施設等を積極的に誘致していくことが必要と考える。現在までの取り組み状況及び今後の予定を伺う。

【政策経営】花畑エリアでは、地元まちづくり協議会からの誘致要望がある大学等の教育機関を、有効なものの一つとして認識している。今後は事業者へのさらなるヒアリングを進め実現可能性を探るとともに、平成27年1月の完成を目指し、エリアデザイン策定に取り組んでいく。



#### 孤立ゼロプロジェクト実態調査目標達成は可能か

【問】平成26年8月現在、区内436町会・自治会のうち、取り組んでいるのは全体の約1/3である。役員の高齢化問題等もあると思うが、残り1年半で全町会・自治会での実施は可能か。

【地域】地域ではプロジェクトを前向きに捉えていると感じており、現時点では可能と考える。住みなれた地域での生活を続けるために

【問】本年6月に医療・介護総合推進法が成立した。この改革では、給付対象者の厳格化等、今後の受給バランスを考えるとやむを得ないと思う反面、特別養護老人ホームへの入所要件のさらなる厳格化等、残された課題もあると思うがどうか。

で現状を把握しながら、手法を含め実現の可能性を探っている。一人でも多くの声を国へ

#### 一人でも多くの声を国へ

【問】本年度は団体規制法の見直しと同時に、アレフ(オウム真理教)の観察処分更新年度にあたる。何としても公安調査庁に住民の意思を届ける必要があり、多くの署名を集めなければならぬ。3年前は25万筆を超えたが、今回の見直しはどうか。

【危機管理】9月21日までに13万筆を超える署名が寄せられている。この後の提出分を合わせると前回を上回ると見込む。

【衛生】近年の研究で糖尿病と歯の健康には相互関係があることがわかっており、歯の健康を高めることは同時に、糖尿病予防に効果的と考えられている。しかし、区では子どものむし歯や若い世代に歯周病が多い等の課題が明らかになったため策定した。教育制度改革で権限が強化される区長の教育行政への姿勢は

【問】区長は、教育長の直接任命・罷免が可能になるとともに、総合教育会議を主催し、地域の実情に応じた大綱を策定することが定められた。今後の教育行政に臨む区長のビジョンを伺う。

【区長】就任以来、一貫してすべての足立の子どもたちに「たくましく生き抜く力」を身につけることを教育行政の最大目標として取り組んできた。成果は現れてきたが、教育の達成目標には道半ばと考える。今後、今まで培ってきた取り組みと成果を着実に今後につなげる組織体制の構築も含めて、これまでと同じ思いのもと課題解決に全力で取り組んでいきたいと考える。

#### 健康な歯で糖尿病を予防

【問】区民の健康寿命は都の平均より2歳低く、その最大の障害要因が糖尿病と言われている。今般「足立区糖尿病対策アクションプラン 歯科口腔保健対策編」を策定した狙いを伺う。



【問】区長は、教育長の直接任命・罷免が可能になるとともに、総合教育会議を主催し、地域の実情に応じた大綱を策定することが定められた。今後の教育行政に臨む区長のビジョンを伺う。

【区長】就任以来、一貫してすべての足立の子どもたちに「たくましく生き抜く力」を身につけることを教育行政の最大目標として取り組んできた。成果は現れてきたが、教育の達成目標には道半ばと考える。今後、今まで培ってきた取り組みと成果を着実に今後につなげる組織体制の構築も含めて、これまでと同じ思いのもと課題解決に全力で取り組んでいきたいと考える。

#### 子どもの貧困に積極的な対策を

【問】区教委として、子どもの貧困対策で新たな施策を進めていく考えはあるのか。区長部局との連携等、具体的にどのように考えているのか。

【教育長】学校を拠点に、貧困等、様々な課題を抱えた子ども等の状況を把握し、福祉施策につなげていくスクールソーシャルワーカー導入を検討している。

区長部局とは「子どもの貧困対策本部」等を通じ、各所管との連携等を図りながら、総合的な視点から対策を進めていく。

#### 社会保障制度の堅持と

#### 少子高齢社会への対応

自由民主党 白石正輝 議員



【問】①国民健康保険料を適正に設定すべきと思うがどうか。

②上昇する介護給付を考慮した介護保険料とするため、値上げは避けられないと思うがどうか。

③働けるのに働かない不当な生活保護受給者に対し、就労指導と保護打ち切りを視野に入れた法律改正が必要ではないか。

【区民】①今後とも所得に応じた公平な負担を求めるとともに、医療費の適正化の取り組みを進め、適正に設定していく。

【福祉】②今後、介護保険制度の維持に適した保険料となるよう地域保健福祉推進協議会で議論いただきたいと考える。

#### 増加する待機児童解消に向けて

【問】今年4月の待機児童数は昨年と比較し36名増の330名となつてしまった。この数字をどのように捉え、施設整備の面でどのように取り組むのか。

【子ども】「保育定員を38名増やしたが、保育所申込者の増加等により、間に合わなかった。今回改定した待機児童解消アクションプランでは、平成26・27年度に定員90名増とし、解消に取り組む。また、施設整備に遅延が生じないようにスケジュール管理をしていく。

【問】①待機児童ゼロに向けて、区有地を活用した保育園増設を考えるとどうか。

②65歳までの定年延長を率先して地方自治体が行うのはどうか。

③高齢者の定義を75歳以上に引き上げるべきと思うがどうか。

【子ども】①施設整備に適した区有地を積極的に活用していく。



【子ども】①施設整備に適した区有地を積極的に活用していく。

用語解説

\*スクールソーシャルワーカー...不登校・非行等の問題を抱えている児童・生徒について、置かれている環境等を考慮しながら、関係機関と連携して、問題を解決していく福祉の専門家